

ICTを活用した防災情報共有に関するセミナー

於：地域ICT未来フェスタ2006inにいがた

ご 案 内

- 日 時 平成 18 年 10 月 27 日 (金)
13時30分 ~ 15時30分
- 場 所 朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター
(新潟市万代島6番1号)
中会議室201
- 定 員 100名 (申込先着順)

- 主 催 独立行政法人情報通信研究機構
共 催 財団法人全国地域情報化推進協会
協 力 新潟県、長岡市、三条市、柏崎市、見附市、財団法人自治体衛星通信機構

ご挨拶

昨今、国内、世界を問わず、相次ぐ地震、台風、津波などの発生により、安心・安全に対する社会的要請は高まっており、国・自治体が防災分野における多様な問題へ、的確に対応することが求められるようになってきております。

また、自治体の防災行政における課題も予見時、災害発生時、復旧時で明確になってきており、とりわけ現場における情報の収集、情報の伝達が迅速性・精度の観点から重要であることが指摘されています。特に、災害の種類により、広域な対応、時間的制約に係わる作業、時系列による対応等では、ICTの活用による情報共有が最も必要であることも解ってきました。

IT戦略本部の「IT新改革戦略—ITによる日本の改革—」においても、「安全・安心な社会の実現」のため「情報収集の迅速化・精度の向上及び災害軽減技術を実用化」「防災・治安情報の基盤を高度化・堅牢化」等が戦略として掲げられています。

このような背景から、独立行政法人情報通信研究機構は「地域ICT未来フェスタ2006 in いかた」において、委託研究事業である「異種ネットワーク相互接続環境下における最適情報通信サービス実現のための制御技術の研究開発」の一環として、10月27日（金）新潟市万代島の朱鷺メッセ会場を中心に新潟県庁、柏崎市役所、三条市役所、長岡市役所、見附市役所などと国の関連機関とを結び、防災情報共有実証実験のデモンストレーションを中心としたセミナーを開催します。

実験の概要は、新潟県において大規模な豪雨災害が発生したという前提の下、実際の災害対策を施すに当たって、如何に迅速な被害収集ができるか、関係機関において効率的な情報の共有・報告ができるかという観点に基づいたシステム構築を行い、それをJGNⅡと各自治体ネットワークを通じて災害情報を共有するというものです。

また自治体と県を繋ぐネットワーク回線が途断したことを想定し、財団法人自治体通信衛星機構が提供する衛星回線に切り替え、バックアップ回線による災害情報の伝達を行う実験も行います。

その他、国～都道府県～市町村間で防災情報を共有するための仕組みを検討している財団法人全国地域情報化推進協会の防災ワーキングの活動方針、取り組み状況も紹介します。

本セミナーは、自治体を中心とした防災業務関係者の皆様にご参加いただくことで、災害発生時に必要となる「災害状況の把握」「状況の報告・共有」を迅速かつ確実に行うための環境構築、および他団体へ的確な支援要請を行うために最適な環境づくりをご検討する際の一助となり、住民の安心・安全の向上に寄与することができれば幸いです。

平成18年9月

主催：独立行政法人情報通信研究機構

共催：財団法人全国地域情報化推進協会

プログラム（予定）

開会宣言	
主催挨拶	独立行政法人情報通信研究機構
来賓挨拶	総務省
活動紹介	独立行政法人情報通信研究機構
研究内容説明	委託研究受託事業者 （エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社）
防災WG活動の紹介	財団法人全国地域情報化推進協会防災ワーキング主査 （西日本電信電話株式会社）
防災情報共有実証実験デモンストレーション	新潟県、柏崎市、三条市、長岡市、見附市 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
質疑応答	
講評	
閉会挨拶	

（注）セミナー会場の収容人数に限りがあるため、セミナー参加のお申し込み先着順で定員に到達し次第受付終了とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先：（財）全国地域情報化推進協会
担当 柴崎 滝沢
TEL 03-5251-0311
e-mail bosai_semi@applic.or.jp